

特集1

金城学院大学 新館「W3棟」が竣工

多様な交流が育まれる回遊動線が誕生 微細に配慮した設備でさらに充実の学びへ

2012年より行われているキャンパス整備プロジェクト、金城学院大学マスタープラン「KMP21」。

今回、フェーズ2としてキャンパス西側に新校舎W3棟が完成しました。

教室や研究室、学生食堂など充実した設備で学生のキャンパスライフや学びを支えるとともに
人や自然、未来とつながる多様な交流が育まれる空間としても期待されています。



Ⅰ 回遊性の高い開放的なピロティ、女子大学らしい配慮も

フェーズ2の重要な設計テーマは「センターコートを中心とした西側キャンパスの再構築」。W3棟とセンターコートや既存建物が一体となった空間と動線の整備でした。W3棟に向かって左側の土地が低く、右側が高いという高低差を利用して、まずは1階以外に2階からも直接W3棟へ入れるバリアフリーの入り口を設置。

これによりピロティが吹き抜けとなり、明るく開放的な空間となっています。また2階の入り口から1階へとつながる階段は学生食堂へ向けて配置。これも、東側キャンパスからの学生たちの動線を配慮した設計です。その階段も木目のステップに、デザイン性の高いスチール製の手すりが女子大学らしい品格と温かさを演出。微細にわたって



学生食堂のリリー・ウエスト

こだわりがみられます。約1,100台設置されているロッカー室も広々とされていて、学生からも「使いやすい」と評判です。

1階入り口横はギャラリースペースになっており、学生が制作物を展示・発表するために作られた空間。照明にもこだわったコンクリートむき出しの空間はまさにモダンなギャラリーそのもので、学生たちの創作意欲をかき立てます。

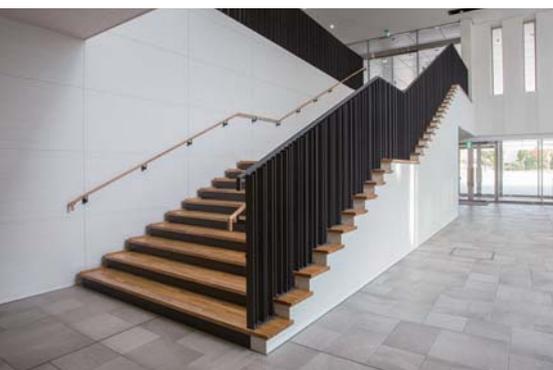
さらに1階にある学生食堂「リリー・ウエスト」も500席と広く、明るい空間。N1棟にある「リリー・ノース」はセンターコートに面した賑やかな場所にあるのに対してこちらは“森の中のカフェ”をイメージ。淡い色調や木調のクロスでまとめられ、落ち着いた雰囲気です。



ピロティ



1階エントランス



1階から2階へとつながる階段



ギャラリー



女子トイレ

テーブル席のほかに、カフェ風のソファ席もあり、学生たちの人気のスペースとなっています。淡いブルーの壁に描かれたイラストは環境デザイン学科の学生が描き起こしたものです。聖書に出てくる絵をモチーフに描かれたもので、学生たちの憩いのひとときを癒してくれます。またメニューボードの黒板を彩るイラストも、同じく環境デザイン学科の学生たちが制作。学生のアイデアも随所に取り入れられた空間となっています。

これらの空間や設備に加え、女子大学らしいトイレも学生に好評。数多く設えられた洗面台、大きな鏡と壁面には愛らしいピンクのタイルが施され、明るくモダンな雰囲気です。こうした学生に対する細やかな配慮にも金城学院らしさが表れています。

Ⅰ 各学科の実験室や研究室は快適性と使いやすさを考慮

2階からは各学科の実験室や研究室などが並んでいます。2階には200人もの大人数を収容できる教室のほかに、いくつかの教室があり、窓の外には緑が広がっていて、こちらもすべて明るく落ちついた空間で学生たちも快適に学べます。学生たちが行き来する通路にはカーペットが敷き詰められ、静かで足に優しく、メンテナンス性にも優れています。

3階は主に食環境栄養学科の学生が使用する教室があります。特に調理系の実習室と解剖系の実習室が近くにならないよう、エレベーターを中心に左右に分かれて配されているところも大学が配慮した点の一つです。

広々として使いやすいキッチンが並ぶ調理学実習室は、先生の手元を映すカメラやモニターを設置。また換気扇のフードも通常よりコンパクトなサイズで黒板も見やすく、実習に支障がないように工夫されています。床も掃除がしやすいような素材が使われています。

環境デザイン学科が使用する設計製図室の4室はパーテーションで区切ることができ、人数に応じて空間の調整が可能。木目のテーブルが柔らかい印象を与え、製図板もコンパクトで使いやすくなっています。また廊下には棚やピックチャーレールを設置。作品などを飾れるギャラリー風に仕上げられています。



講義室



調理学実習室

I W3棟が学生の多様な交流起点に

環境デザイン学科が使用するファッション造形実習室は、日当たりがよく寒い季節でも温かい南側に配されています。これは被服製作にあたり、冬でも着替えることの多い学生に配慮した設計。もちろん断熱材やペアガラスなど、最新の建築材料を使用しています。また1人の先生が同時に授業を行えるよう、二つの造形室はガラスの壁で区切られ、スピーカーを設置。二つの部屋を行き来できるように扉も作られるなど、細やかな工夫も施されています。ほかにも生活情

報処理演習室やゼミ室などがあり、いずれも明るく快適な空間です。

W3棟の完成により学生にとってはより使いやすく、また金城学院キャンパスマスタープランで思い描いたような、東西のキャンパスが一体となった回遊動線が生まれました。授業と授業の間、あるいは昼休みなどW3棟の前やスロープでつながれた通路を笑顔で歩く学生たちの姿が見られます。新校舎W3棟を中心に、未来へ向けてさらに人と人、人と自然の多様な交流が育まれていきます。



ファッション造形実習室



W3棟とW2棟を繋ぐ2階スロープ

Interview

W3棟で学ぶ生活マネジメント学科、環境デザイン学科、食環境栄養学科の3人の学生に新しい教室や研究室、実習室の使い心地や快適性、そこでの学びの様子などを伺いました。



生活マネジメント学科4年
杉山 実希さん

I デザインの細やかな配慮も金城学院らしくて素敵です

キャンパス内の校舎が徐々に建て替えられ、新しくなっていくのをずっと見てきて、私たちの学科が入るW3棟の完成も楽しみにしていました。これまで学んでいたE1号館と比べるととても明るく、きれいになったので、勉強のモチベーションも上がりました。特にW3棟の正面入り口を入ったとこ

ろに設けられている大きな階段が印象的で、ロビー空間も広々としていて、今までの校舎にはなかった開放感があると思います。

またトイレも女子大学らしく、かわいい雰囲気気に入っています。ピンクで花柄のタイルが愛らしく、友人と「かわいいね」といつも話しています。

食堂「リリー・ウエスト」の花柄の壁紙など細やかなところも配慮されているのが金城学院大学らしくて素敵だと思います。

ランチは「リリー・ウエスト」をよく利用します。ここのランチセットがお気に入りですが、どのメニューもおいしく、明るく清潔感があり、居心地も抜群なのでゼミの仲間たちとよく集まって話します。就職の話や授業の話など話題はさまざま。最近では卒業旅行の話で盛り上がっています。

4年間の学びの中で消費生活の分野に興味を持ち、2年次からはFP（ファイナンシャル・プランナー）の資格を取るために勉強をして資格を取得、希望の金融機関への就職も決まりました。新しいW3棟で学ぶのはあとわずかですが、充実した日々を過ごしたいと思います。

食環境栄養学科3年
新木 万結さん



Ⅰ 実験室も調理室も広く明るく、使いやすくて快適です

W3棟では実験室、実習室、ゼミ室を利用しています。実験室では主に生化学実験や解剖学実験、食品衛生学実験などを行っています。実験室が以前より広く、明るくなったと思います。実験台も最新の材質に刷新され、イスも座りやすく、引き出しも使いやすくなりました。生化学実験

ではヒトやラットの血清に含まれる成分を調べる実験をしたり、食品衛生実験では大腸菌の培養、着色料などの抽出をする実験をするのですが、こうした実験もすべて快適に行えます。調理実習室では、これまで以上にシンクが広くなり、コンロも機能的になり快適に調理実習ができ

ました。

また実習室は、横に幅広くなり、以前にも増して、学習しやすい配置になりました。栄養カウンセリング実習や臨床栄養学実習などではグループワークなどで幅広くなった実習室の机の配置を生かして仲間と楽しく学んでいます。

ゼミでは仲間とともに「糖尿病の人のための500キロカロリーのお弁当コンテスト」に応募し、見事1次審査を通過。来年1月に京都で開催される第20回日本病態栄養学会年次学術集会で発表する研究も進めています。新しいゼミ室で意欲的に取り組めた結果だと実感しています。

新しいW3棟で栄養や健康についてしっかりと学び、将来はこの学びを活かした管理栄養士になりたいと思っています。

環境デザイン学科4年
吉田 奈津子さん



Ⅰ 情報交換の場になる共同研究室をよく利用します

W3棟の中でも特によく使うのは、共同研究室です。明るくて居心地がよい上にさまざまな建築ソフトが入ったパソコンが完備されており、作業台も広く、資料も豊富にそろっているので卒業制作はほとんどこの研究室で行っています。

また設備のよさだけでなく、普段あまり顔を合わすことのない学生たち

と一緒にいることもいいところ。話をすることで情報交換ができ、また新たな視点からアイデアをもらったりできるので、研究もより一層はかどります。後輩も利用するので、ときには教えたりすることもあります。

製図室も気に入っている場所の一つです。私たちの研究や作業はた

くさんの資料を広げて行うことが多いのですが、新しい製図室は製図台の間隔が広々としているので資料も広げやすく、とても作業がしやすいです。製図板もコンパクトで使いやすくなりました。静かな環境で作業に集中できるので、授業の空き時間にもよく利用しています。

さらに1階のピロティも開放的でとても素敵だと思います。私はファッションショーを手がけたりするサークルに所属していますが、今年の大学祭ではピロティの屋外階段を利用してファッションショーを行いました。屋内のショーとは違い、通りがかりの人も見てくれてとても盛り上がりました。

卒業後は内装デザインの会社へ就職します。この場所で学んだ技術やアイデアを仕事に活かして頑張りたいと思います。